



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 パンチ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6165 URL <https://www.punch.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 森久保 哲司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 CFO (氏名) 村田 隆夫

TEL 03-5753-3130

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,120	11.7	521	66.0	808	47.0	950	
2023年3月期第2四半期	21,665	11.0	1,537	13.1	1,524	12.2	905	28.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 169百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 2,889百万円 (24.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	38.87	
2023年3月期第2四半期	40.62	40.20

(注) 2024年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,606	18,577	58.7
2023年3月期	30,455	19,052	62.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 18,539百万円 2023年3月期 19,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		6.50		13.00	19.50
2024年3月期		10.00			
2024年3月期(予想)				9.21	19.21

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,200	10.7	1,150	52.8	1,350	43.6	900		36.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	24,622,400 株	2023年3月期	24,622,400 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	156,071 株	2023年3月期	191,339 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	24,439,213 株	2023年3月期2Q	22,303,554 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は2023年11月21日(火)に機関投資家及びアナリスト向けオンライン説明会を開催予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の規制緩和による社会経済活動の正常化への動きが進む一方で、地政学リスクの増大、長期化による景気の下振れリスクや為替相場の変動など、厳しい経営状況が依然として続いております。また、製造業では、自動車業界等における在庫調整や巣ごもり消費の終息、コロナ特需の反動やサービス消費へのシフトなどにより市場は低調に推移していることに加えて、半導体・原材料調達難は回復基調である一方、原材料・資源価格高騰が顕著となり、先行きが不透明な状況が継続しております。

このような環境のなかで当社グループは、2022年4月より、3ヵ年の中期経営計画「バリュークリエーション（以下、VC）2024」において、「新規・既存事業の拡大」「生産体制の強化」「R&D強化」の3つを重点経営課題として掲げ、目標達成に向けて取り組んでまいりました。2022年10月にはFA機器設計・製作を手掛ける株式会社ASCe（以下、アスク）の全株式を取得し、子会社化するなどして「新規・既存事業の拡大」に取り組むほか、2023年1月には「財務戦略」として、資本政策の基本方針及び株主還元方針の見直しを実施するなど、一定の成果を上げてまいりました。しかしながら、世界的な地政学リスクの高まり、原材料・資源価格の高騰や部品不足等により経営環境が厳しさを増す中、「VC2024」については大幅な遅れを余儀なくされており、当社としては、これまでの遅れのリカバリーに加えて、今後の新たな成長戦略も含めた計画のブラッシュアップが必要であると考えに至りました。そして、2023年5月にプライム市場からスタンダード市場への移行、2023年7月には「VC2024」をブラッシュアップした「VC2024 Revival（リバイバル）」を公表し、各種施策の実行に経営資源を集中することといたしました。なお、「VC2024 Revival」につきましては、2023年10月27日に経営数値目標を公表しております。

「VC2024 Revival」では、付加価値の高い特注品ビジネスにより特化し、持続的な利益成長を目指すことを方針として、最重点施策に「国内事業の再整備」を掲げ、生産拠点・販売拠点の統廃合を行います。また、2023年9月には、希望退職者の募集・連結子会社の解散を含めた経営合理化を行いました。国内事業においては事業体制の再整備を行う一方、海外事業においては引き続き、販売拠点及び販売代理店の新設、FA領域の“特注品”の販売拡大、インド市場への再注力など、成長戦略を継続します。

経営成績に目を向けますと、まず販売面では、世界的な在庫調整の局面やダウントレンドの市況を受け、日本並びに中国、東南アジア地域において前年同期実績を下回る売上となりました。特に、中国においては、自動車、スマートフォンなどの耐久消費財の需要の伸び悩みや不動産市況低迷と輸出落ち込みを要因とした先行き懸念及び物価上昇等の影響もあり、景気回復のペースが想定を下回りました。一方、欧米他地域においては展示会展等による新規顧客獲得により、前年同期実績を上回る実績となりました。なお、当社及びアスク、ピンテック、インドパンチを除くグループ各社の決算期は12月となっており、2023年1月から6月の業績が当第2四半期連結累計期間の業績となります。

この結果、国内売上高は6,496百万円（前年同期比6.9%減）、中国売上高は9,815百万円（前年同期比18.9%減）、東南アジア地域の売上高は971百万円（前年同期比1.5%減）、欧米他地域の売上高は1,836百万円（前年同期比15.3%増）となり、連結売上高は19,120百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

また、業種別では、すべての業種において前年同期実績を下回りました。自動車関連は8,192百万円（前年同期比10.1%減）、電子部品・半導体関連は3,599百万円（前年同期比12.7%減）、家電・精密機器関連は1,867百万円（前年同期比15.7%減）、その他は5,461百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

利益面につきましては、中国並びに日本の売上減少による工場稼働の悪化、エネルギーコスト上昇等により、営業利益は521百万円（前年同期比66.0%減）、為替差益の計上等により経常利益は808百万円（前年同期比47.0%減）、経営合理化に伴う特別加算退職金と再就職支援に係る一時的な特別損失等の計上により、親会社株主に帰属する四半期純損失は950百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益905百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は31,606百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,150百万円の増加となりました。これは、主として現金及び預金の増加等によるものであります。

総負債は13,028百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,625百万円の増加となりました。これは、主として未払金の増加、長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は18,577百万円となり、前連結会計年度末と比較し475百万円の減少となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは648百万円の収入（前年同期は825百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失612百万円、減価償却費、減損損失、のれん償却額等861百万円の非資金損益項目の他、棚卸資産の減少額356百万円、利息及び配当金の受取額35百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは508百万円の支出（前年同期は588百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出515百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,123百万円の収入（前年同期は421百万円の支出）となりました。これは、長期借入による収入3,400百万円、短期借入金の減少額1,252百万円、長期借入金の返済による支出592百万円、配当金の支払額317百万円等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は6,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,464百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月27日の「連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,212	6,676
受取手形	1,745	1,683
売掛金	9,632	9,419
商品及び製品	2,851	2,791
仕掛品	658	627
原材料及び貯蔵品	1,531	1,450
その他	484	723
貸倒引当金	△39	△38
流動資産合計	22,077	23,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,157	6,311
減価償却累計額	△4,386	△4,565
建物及び構築物（純額）	1,771	1,746
機械装置及び運搬具	17,405	17,936
減価償却累計額	△13,513	△13,992
機械装置及び運搬具（純額）	3,892	3,944
工具、器具及び備品	2,732	2,849
減価償却累計額	△2,273	△2,381
工具、器具及び備品（純額）	459	467
土地	829	823
建設仮勘定	161	164
その他	466	513
減価償却累計額	△265	△315
その他（純額）	200	198
有形固定資産合計	7,314	7,343
無形固定資産		
のれん	466	442
その他	228	203
無形固定資産合計	695	645
投資その他の資産		
投資その他の資産	404	318
貸倒引当金	△36	△35
投資その他の資産合計	367	283
固定資産合計	8,377	8,272
資産合計	30,455	31,606

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,667	2,456
電子記録債務	999	973
短期借入金	1,300	50
1年内償還予定の社債	10	5
1年内返済予定の長期借入金	728	1,447
未払法人税等	396	260
賞与引当金	379	527
その他	2,698	3,316
流動負債合計	9,180	9,037
固定負債		
長期借入金	675	2,826
退職給付に係る負債	1,243	844
その他	303	320
固定負債合計	2,222	3,991
負債合計	11,403	13,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,406	3,406
資本剰余金	2,967	2,968
利益剰余金	10,101	8,833
自己株式	△94	△76
株主資本合計	16,381	15,131
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,737	3,473
退職給付に係る調整累計額	△111	△65
その他の包括利益累計額合計	2,626	3,407
新株予約権	20	14
非支配株主持分	23	23
純資産合計	19,052	18,577
負債純資産合計	30,455	31,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	21,665	19,120
売上原価	15,617	14,085
売上総利益	6,048	5,035
販売費及び一般管理費	4,511	4,513
営業利益	1,537	521
営業外収益		
受取利息	28	35
為替差益	—	216
その他	38	61
営業外収益合計	67	313
営業外費用		
支払利息	26	20
為替差損	45	—
その他	7	5
営業外費用合計	79	26
経常利益	1,524	808
特別利益		
固定資産売却益	4	5
特別利益合計	4	5
特別損失		
固定資産除売却損	9	9
減損損失	101	265
事業再編損	—	781
退職給付費用	—	45
子会社整理損	—	323
特別損失合計	111	1,426
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,417	△612
法人税、住民税及び事業税	356	235
法人税等調整額	153	98
法人税等合計	509	334
四半期純利益又は四半期純損失(△)	908	△946
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	905	△950

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	908	△946
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,023	731
退職給付に係る調整額	△42	45
その他の包括利益合計	1,981	777
四半期包括利益	2,889	△169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,884	△168
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△0

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,417	△612
減価償却費	554	572
減損損失	101	265
のれん償却額	—	24
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	17	△335
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△9	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	455	142
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△10	△6
受取利息及び受取配当金	△28	△35
支払利息	26	20
為替差損益（△は益）	4	△199
固定資産除売却損益（△は益）	5	4
売上債権の増減額（△は増加）	△148	827
棚卸資産の増減額（△は増加）	△142	356
仕入債務の増減額（△は減少）	△34	△469
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△888	622
その他	△126	△171
小計	1,196	1,006
利息及び配当金の受取額	28	35
利息の支払額	△12	△31
法人税等の支払額	△386	△362
営業活動によるキャッシュ・フロー	825	648
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	36	△0
有形固定資産の取得による支出	△600	△515
有形固定資産の売却による収入	11	16
無形固定資産の取得による支出	△50	△14
長期貸付けによる支出	—	△0
長期貸付金の回収による収入	4	2
敷金及び保証金の差入による支出	△5	△6
敷金及び保証金の回収による収入	16	8
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588	△508
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△367	△1,252
長期借入れによる収入	367	3,400
長期借入金の返済による支出	△362	△592
割賦債務の返済による支出	△41	△42
リース債務の返済による支出	△77	△66
社債の償還による支出	—	△5
株式の発行による収入	258	—
配当金の支払額	△198	△317
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△421	1,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	494	201
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	309	1,463
現金及び現金同等物の期首残高	4,669	5,212
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,978	6,676

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、金型部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。